

令和2年度中間事業報告会について

令和2年12月17日

令和2年度の中間事業報告会は令和元年12月17日 13時30分より千代田区の学士会館（201号室 ドラマ半沢直樹に利用された部屋）にて開催されました。本年度の5月通常総会はコロナ禍の非常事態宣言時であり、開催出来なかったことから、1年ぶりのリアル会合となりましたが、感染防止対策を徹底し、「三密」を避けるため参加人数を通常時の120名程度収容のところ、アクリル板で仕切った教室方式で開催し、45名の正会員と更に58名の会員がWebで参加しました。今年は、特別講演を田中電気研究所の田中社長にお願いしました。

議事次第としては

- ① 助川理事長よりご挨拶と共に中期計画のおさらいと当半期の進捗状況、更に会員各位から頂いた質問事項への回答など幅広い説明がなされました。
- ② 事務局より第19期（2021年3月期）コンティンジェンシープラン（危機対応の収益管理）について説明あり、コロナ禍での当NPOクラブの状況が報告されました。
- ③ 今回の中間報告会より個別案件・事例紹介として
 - ・三重県医療・福祉機器プロジェクト報告（柴田リーダー）
 - ・次世代育成支援事業報告（佐藤リーダー）の2案件の紹介ありました。
- ④ 新入会員の自己紹介としては、5名の方より挨拶がありました。
- ⑤ 田中電気研究所田中社長講演「生きることは挑戦すること」の、実践と題する大変貴重なご講演を拝聴することが出来ました。
特に同社の自社ブランド製品である環境測定器ダスト濃度計の開発とJIS化への取り組みについて詳しくご説明頂きました。当NPOクラブとしても販路開拓協力していきたいと思えます。

上記の通り、リアル参加の会員は少なかつたものの、Web参加会員も含め103名の正会員が参加し、久しぶりに多くの会員が情報共有できたことは大きな成果でした。